



## 神庭通信 2018

(かにわ つうしん)



平成30年度 校長室だより

第2号 H30. 5. 25

### 平成 30 年度学校教育計画

平成 28 年度から 4 年間の「学校教育計画」に基づき、今年度の目標設定とグランドデザインを策定いたしました。大きな 5 つの視点それぞれについて、昨年度までの取組みの評価をもとに、今年度重点をおいて取り組む目標をまとめています。

今年度からは「学校運営協議会」(コミュニティスクール)が始まります。地域との連携協働をいっそう深め、具体的な取組み実践につなげていきたいと思っています。第 1 回目の協議会は 7 月に開催を予定しています。

学校教育計画やグランドデザインについては、ホームページの学校経営に掲載していますのでご覧ください。



### 懇談会・家庭訪問・面談ありがとうございました

各学部の懇談会には、お忙しいところ多くの保護者の皆さまにご出席いただき、ありがとうございました。今年度の学部運営についてお伝えするとともに、新年度の児童生徒の学校での様子をご覧いただく機会にもなりました。

また面談(新入生は家庭訪問)では、一人ひとりの目標をおさえた教育活動のベースとなる個別教育計画の作成に向け、一緒に話し合うことができました。これからもご家庭との連携を図り、充実した学校生活にしていけるよう、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



### 高等部修学旅行

4 月 18 日～20 日は知的障害教育部門高等部(本校・分教室)の修学旅行でした。沖縄本島の琉球村でのエイサー見学、水納村のマリン体験、美ら海水族館、国際通り散策など、仲間と一緒に旅行をした経験を通して様々なことを学んできました。

また肢体不自由教育部門高等部は 5 月 16 日～18 日に東京方面に出かけました。水族館、ディズニーランド、スカイツリーなどを元気に見学し、一人ひとりの心の中に楽しい思い出がたくさんできました。

中原養護学校の最高学年の高等部 3 年生は、旅行を終えてまた一回り大きく頼もしく成長したように感じます。修学旅行の思い出を胸に、これからも最上級生としての活躍を期待しています。



校歌のお話（第1回）



## 「遺跡の祖先 なつかしく」

中原養護学校が建っている場所のあたりには、今から5500年ほど前の縄文時代中期から弥生時代、そして古墳時代中期までの昔の人々が暮らしていた跡が残っています。5500年前といっても実感がわかないくらい、昔のことです。その頃ここに暮らしていた人たちは、どんな生活をしていたのでしょうか。

このあたり一帯は「神庭（かにわ）遺跡」と呼ばれていて、中原養護学校の校舎建設の際の発掘調査により、密集した住居の跡が発見されました。その数は、縄文時代中期の竪穴住居跡が約40軒、弥生時代後期の住居跡が約90軒、古墳時代の住居跡が約50軒というものでした。掘り出された土器や石器の一部は、川崎市のご協力により、本校1階の図書会議室に展示してあります。昔の人たちがどのような生活をしていたのか、こうした展示を見ながら想像するのも楽しいです。

現在、学校からは武蔵小杉周辺のビルや、都内の高いタワーが見えていますが、その頃はどんな景色が見えていたのでしょうか。井田の丘はふもとに川が流れており、湧き水も豊かな場所だと聞いています。今も昔も自然に恵まれた住みよい台地ということでしょう。

先日も地域の歴史を勉強する授業の中で、井田小学校6年生の皆さんが井田の丘に来て、展示物の見学などをしました。

皆さんも一度、静かな校庭に立って昔の人々の暮らしを想像してみたいかがでしょうか。学校にお越しの際は、図書会議室の展示もご覧ください。

※参考資料：「中原養護学校図書会議室掲示資料」より

### ※中原養護学校校歌【作詞：金子奈美江、補作：小島喜一（初代校長）、作曲：鈴木直吉】

昭和49年4月に第1回入学式を行った中原養護学校。

校歌の制定は、昭和53年3月のことでした。

創立の頃に作られた校歌は、今日も児童生徒に歌い継がれています。

歌詞の言葉を引用しながら、中原養護学校の歴史や学校生活の様子などを紹介していきます。